

令和 元 年第11回久米島町議会定例会一般質問

期日： 令和元年12月17日

令和元年第11回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	翁長 学	1、令和2年度の久米島町の助成金について 2、病虫害対策について	令和元年12月18日(水)
2	盛本 實	1、経済政策について 2、かんしょ茎・基腐症対策について	令和元年12月18日(水)
3	宇江原 総清	1、鳥島射爆撃場の早期返還について 2、謝名堂一宇根間の県道89号線の道路拡張工事について 3、ふれあい公園の越波問題と浦地川のジンジンロード化について 4、真泊の避難道路の延長について	令和元年12月18日(水)
4	棚原 哲也	1、子育て環境の整備を 2、仲里総合グラウンドの施設及び周辺整備について 3、銭田森林公園の進捗状況は 4、町長は今年度海外出張の回数は	令和元年12月18日(水)
5	吉永 浩	1、若者議会や若者会議について 2、子ども・子育て支援について 3、地域行政懇談会について 4、久米島の沖縄角力について	令和元年12月18日(水)
6	赤嶺 秀徳	1、子どもの貧困について 2、ハーベスター導入について 3、小中学校への冷房設置について 4、街灯の設置について 5、儀間川の環境整備について	令和元年12月18日(水)

1	東江 浩明	1、堆肥センター現状と今後の向上対策について	令和元年12月19日(木)
2	新垣 幸子	1、子育て支援連絡協議会の設置について	令和元年12月19日(木)
		2、臨床心理士の町職員としての配置について	
		3、久米島町のこども医療費助成の対象者の拡大について	
		4、インフルエンザ予防接種助成について	
		5、幼稚園の給食について	
		6、学校教育予算の増額について	
3	富 永 肇	1、久米島町のスポーツ振興と経済効果について	令和元年12月19日(木)
		2、小中学生の体力運動能力について	
		3、イーフビーチの砂の飛散について	
4	喜久里 猛	1、バーデハウスのシャトルバスについて	令和元年12月19日(木)
		2、議員定数について	
		3、中央通り会の街灯について	
		4、図書館(複合型防災・地域交流拠点施設新築工事)の用地について	
		5、福祉ケアマネについて	
		6、久米島大綱曳きについて	
		7、カンジン地区畑かんについて	
		8、シンリ浜前のアオサ用鉄筋について	
5	真栄平 建正	1、赤土対策について	令和元年12月19日(木)
		2、海岸漂着ごみ対策について	
		3、猫被害の対策について	
		4、第2次久米島総合計画について(基本構想)について	
6	玉城安雄	1、第2次総合計画について	令和元年12月19日(木)
		2、第3セクターについて	

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
1	翁長学	令和2年度の久米島町の助成金について	現在、町から各産業団体等に助成金が出ている。2年度も継続助成をお願いしたい。 農漁業関係 商工業関係	町長	産業振興課で助成している各種助成につきましては、今年度同様、令和2年度も継続して助成を予定しております。 各産業団体等への助成金（補助金）については、団体等からの依頼や要望を受け、提出された書類等の内容について、ヒアリング等で審査や精査を行いながら、予算の確保に努め支援を行っております。商工業関係団体についても、同様に支援を行っております。令和2年度についても依頼・要望があり、現在、内容の審査等を行っておりますが、その結果に基づき予算を確保し、支援を行います。	産業振興課 商工観光課
2		病虫害対策について	県内において、ツマジロクサヨトウの発生が確認されている。本町も11月5日農家の情報により、幼虫の写真より、那覇防疫事務所が確認した。今後の対策は、どう進めていくか。	町長	農家より、情報が寄せられた場合、産業振興課・久米島製糖・JA久米島支店・駐在普及員で、現場を確認し、食害された葉っぱや幼虫を捕獲し南部普及センターに送り、病虫害の種類を特定しております。ご質問の、ツマジロクサヨトウであれば、使用可能な農薬で対応しております。また、農家への情報提供も農事懇談会の中で行っております。	産業振興課
3	盛本實	経済対策について	本町においては、旧態依然として少子高齢化、人口減少に歯止めがかからず商店街の衰退や働き手不足等々による産業振興の阻害など多くの問題を抱えている。また、久米島高校の存続問題や今後顕著化してくるであろう小学校の統廃合、また福祉関係の面でも多くの問題が出てくることが予想される。このような問題に対処するためには、若者が移住・定住できる環境、そして福祉・教育が充実する環境を整えるのが喫緊の課題と思われる。そのためにも経済政策の強化が最善策だと考えるが、町長として今後どのような経済政策を進めようとしているのか伺う。	町長	少子高齢化、人口減少の課題は、子育て環境や地域の経済状況と密接に関連するものであり、町独自の経済政策は必要であります。 従来の経済対策は、国の経済対策の具体化方策として、商工施策を中心に実施してきましたが、町独自の取り組みとして、地域資源を有効活用して、地方の個性や優位性を活かし、尚且つ、多様化、個性化する需要に応えられる政策立案と実施が必要と考えています。 以上のことを踏まえ、これまでの諸施策を点検しつつ、経済等の課題に取り組むための「公・民・学」連携の組織立ち上げを準備中です。	企画財政課

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
4	盛本 實	かんしょ茎・基腐症対策について	甘藷生産農家は、現在深刻な問題に直面している。ここ数年でかんしょ茎・根腐症が蔓延し生産量が急激に減少している状況にあり、生産農家としては今後甘藷生産を継続して行く上でかなりの危機感を感じているのが実情である。農家個々では対策方法も取れず右往左往している状況にあるが行政として実態をどの程度把握しているのか。また、その対策について伺う。	町長	甘しょの基腐病については、沖縄県・鹿児島県・宮崎県で発生している状況です。対策として、植え付け時に、ベンレート水和剤に浸してから植え付けるよう指導をしております。また、11月にバイオ苗を県が900本・町で9,800本導入し、配布する準備をしております。美ら恋紅より病気に強い品種のV4の種芋を導入し、農家代表へ配布を行っております。去る、12月11日には、久米島町甘しょ拠点産地協議会及び営農支援課・農業研究センター・南部農業普及センターで状況を確認し、今後の協議会での対応を確認しました。12月2日には、沖縄県糖業農産課・営農支援課・南部普及センター・農業研究センター・病害虫防除技術センター等の関係機関で、対策会議も行っております。内容としましては、久米島町内で展示圃場を確保し、どの様な対策が有効なのか、実験を行うと報告を受けております。	産業振興課
5	宇江原 総清	鳥島射爆撃場の早期返還について	私は小沢一郎氏の信望者である。氏の言葉に「政治家は理念、条理、信念たるべき」と言うのがある。 私はその言葉を念頭に4点質問する。 一点目は鳥島射爆撃場の早期返還について 私は前町長から風評被害のそしりを受けた。ところが本年5月8日の沖縄タイムス紙に「被ばく恐れ鳥島未調査、米軍2010年9月まで」とか、劣化ウラン汚染の危険度を最も深刻なものから3分類した図もある。次の4点を伺う。 この島の放射性物質をどう捉えているか。 20年の契約の中で10年後に再度協議する事になっているが、その際同射爆撃場の返還の決意と住民総決起大会をもつか。町内のガン罹患者をどのように把握しているか。 自衛隊や米軍の基地拡張等はないのか。	町長	マスコミ報道後、外務省沖縄事務所に確認しましたが、米軍の確認に時間を要していることから未だ確認が取れていない状況です。放射性物質につきましては、日本分析センターが毎年環境調査を実施していますが異常値は検出されておりません。 鳥島射爆撃場及び久米島射爆撃場の早期返還については、沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会（軍転協）を通して毎年継続して要請を行っております。早期返還に対する町民決起大会の開催は、開催時期や実施効果を慎重に検討する必要があるため、関係団体と調整を図りながら検討したいと考えております。 ガンの罹患者数につきましては把握しておりません。ガンによる死亡数については沖縄県が公表している人口動態統計で把握しており、平成29年度は死者総数107名の内ガン死亡数は32名で、比率は29.9%となっております。 自衛隊や米軍の基地拡張等の情報はありません。	総務課

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
6	宇江原総清	謝名堂 - 宇根間の県道89号線の道路拡張工事について	私は謝名堂 - 宇根通り会の会長でもある。16年前から拡張工事の抗打ちされている。 2009年8月30日に当時の町長と共に県土木建築部長に面談し、86%の同意書を添付した陳情書を提出した。実施に向けて強く要望したが、その後の進捗を伺う。	町長	県道89号線、謝名堂区間の道路拡幅については、毎年度、沖縄県に対し早期整備について、継続要請しております。さらに、南部市町村会における共通の課題として、国及び県に早期整備の要請を行っているところでございます。 去る11月28日、沖縄県南部土木事務所において、県道整備に関する意見交換を行ってきたところでございますが、県においては、事業化に向けて国との調整等を行っているとのことでございます。引き続き、事業の早期実施について調整を図ってまいります所存でございます。	建設課
7		ふれあい公園の越波問題と浦地川のジンジンロード化について	ふれあい公園は、何度かの越波に遭い甚大な被害を受ける。中には「床まで浸水して死ぬ思いをした」との恐怖を語る人もいた。コンクリ護岸では更に嵩上げしても波は登る。 工法としては、石積みの傾斜とし、石と石の間の目地にはハマシタン、クサトベラ、モンパの木等の海浜植物を活用する。 又、浦地川のジンジンロード化については荒蕪地を買い取り、サガリバナ、クメノサクラ、オキナワサガリバナ等を植栽し、クメジマボタルを増やしたらどうか伺う。	町長	ふれあい公園の護岸は、鳥島漁港整備工事において発生する、浚渫土砂の処分護岸として築造され、発生土による埋立地となっております。埋立後、本町が、ふれあい公園の整備を行い管理しております。 護岸の石積み工法については、本地域における効果が発揮するような結果が得られるか、更に、条件等においては、様々な課題が山積していると思われまますので、沖縄県に照会したいと考えております。 浦地川への植栽をして、久米島ボタルを増やす取り組みは、地権者の同意を得て行うことは必要と考えます。関係機関と、その整備については協議を行います。	・建設課 ・環境保全課
8		真泊の避難道路の延長について	真泊の避難道路建設は、途中で投棄されている。行き先は雑草の繁茂地で、急患の場合救助不可能だ。何のための避難道路か。本件避難道路は、涙石付近までの道路延長で、当時7,400万円の一括交付金で計上して施工された。 2015年6月本議会定例会で、当時の総務課長儀間氏が「涙石、烽火台等も併せて行ける進入路の整備をしていく。」と答えている。その後の進捗を伺う。	町長	真泊の避難階段については、避難した住民の待機場所や主要道路に通じる道路の計画であり、涙石や烽火台等は整備計画に入っておりません。 避難した住民の待機場所や主要道路に通じる道路の計画につきましては、予算の確保が厳しい状況で実現しておりませんが、関係部署と調整を図りながら検討します。	総務課

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
9	棚原哲也	子育て環境の整備を	町内公的施設や主要施設等へのベビーチェア及びオムツ交換台設置の進捗状況は。特に乳幼児健診や予防接種等が行われる改善センター及び庁舎、空港、祭りが行われる公園や運動会が行われるグラウンド等子連れの子が多く利用する施設にそういった整備が必要だという声の子育て世代の方からあがっているが前回の質問後改善された場所はあるか。	町長	平成31年3月議会において、棚原議員からの質問後、仲里庁舎に設置できないか検討しましたが、未だ実現できておりません。設置可能な個所については計画的に取り組んでいきます。	総務課
10		仲里総合グラウンドの施設及び周辺整備について	仲里総合グラウンドは早朝から夕方まで多くの町民が健康づくりや体力作りとして利用している姿がみられるが、ここ数年ライトが壊れ撤去しているため暗く利用し辛い状況にある。特に秋から春にかけては暗い時間が長く、秋の陸上シーズンには大人と子どもがぶつかりそうになったりする状況もあったとの声があります。ハブの目撃情報も多い地域でもあるため外周は外灯等の数も少し増やす必要があるのでは、町長の考えを伺いたい。 管理棟横の砂場で角力の練習を行っています。角力道場のかたちで整備する事はできないか。 県道との境界フェンスが県道整備に伴い撤去されているがボールの県道への飛来や子どもの飛び出し等事故に繋がりがかねない状況があるがフェンス設置の予定はないか。	町長	仲里総合グラウンドの、照明灯が使えなくなっており、外灯の増設については、財政状況をみて検討いたします。 角力場については、沖縄角力の本場久米島の名前で有名ですので、関係機関と協議いたします。 現在、フェンス設置については、計画はありませんが、各関係する団体等の意見を聴取して参ります。	環境保全課
11		銭田森林公園整備の進捗状況は	整備が遅れているが開園のめどはいつ頃予定されているか。遅れている理由はなぜか。 整備完了後の施設の運営及び管理はどこが行うのか。 施設運営及び管理にあたって町が年間どれだけの予算をそこにあてるのか。	町長	開園については、令和2年4月を予定しています。開園が遅れている理由は、運営体制の充実を図るため、スタッフの育成研修を行っていること。また、引き込み電線の地中埋設により、進入道路工事の工期設定を長めに設定したことによります。 指定管理者方式による、運営方法及び管理を予定しております。 既に、指定管理を行っている、町内他施設同様に、指定管理を受けた団体は独立採算での運営を基本としますが、施設規模に応じた指定管理料は、他施設と同様に必要なもので、現在、管理する範囲及びかかる予算について精査中です。	プロジェクト課
12		町長は今年度の海外出張の回数は	国名及び視察目的等詳細な説明を伺いたい。	町長	令和元年度の海外出張につきましては、サンゴ礁保存再生活動のモデル事業の一環で11月に4泊5日の日程で、パラオ共和国の視察を行いました。	総務課

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
13	吉永浩	若者議会や若者会議について	久米島町の活性化は、「若者が活躍するまちづくり」が必要と考える。若者が今どのような考えやアイデアをもっているのか聞く機会として、「若者議会」や「若者会議」を大田町政で実現できないか伺う。	町長	地域活性の度合いは、若者の活躍できる場が、どれだけあるかが、一つの指標になるかと思えます。若者の声を聞く機会としての会議は、大変、有意義であり、まちづくりの効果が見込まれるアイデアについては、町政に積極的に反映させてまいります。 このような会議については、若者が自発的に動くことが大切だと思いますので、今後、経済団体青年部や青協など、若い皆さんの意向、意見を聴取しながら、会議が発足できる環境を整えてまいります。	企画財政課
14		子ども・子育て支援について	平成31年度施政方針の中で「母子保健・児童福祉」についての様々な課題や取組が示されているが、計画通り実施できているか伺う。	町長	施政方針の、母子保健・児童福祉につきましては、計画に沿って実施しておりますが、一部においては、継続して取組んでいる事業もあります。なお、研修等については、各種研修を受講しており、専門性が必要とされる研修については、継続してまいります。	福祉課
15		地域行政懇談会について	町民の声を反映した町政運営を行うことを目的に、町民と町長が町行政について話し合う。「行政懇談会」が開催されたと思う。町民の声を聞いた町長とその声に対する。今後の対応について伺う。	町長	町民から頂いた、貴重な質問やご意見は、真摯に受け止め、今後の行政運営に生かしていきたいと考えております。	総務課
16		久米島の沖縄角力について	古くから島の人々の暮らしと密接に関わりある「久米島における沖縄角力」。 町指定文化財にできないか。見解を伺う。	教育長	沖縄角力は、古くから全県的に伝わるものですが、中でも久米島は沖縄角力のメッカとして多くの大会で優勝力士を輩出してきました。しかしながら、「久米島における沖縄角力」の独自性や特徴といったものがあるのかどうか、そしてその技能を適切に体現できる団体の活動等について調査してまいりたいと思えます。	博物館
17	赤嶺秀徳	子供の貧困について	子供の貧困問題は、沖縄県においても最重要課題と位置付けされていると思うが。 3点について伺う。 (1) 実態把握は行われているか。 (2) 子供の貧困について、現在どのような取組を行っているか。 (3) 今後の取組みをどのように推進していくか。	町長	平成30年度に、小学生・中学生の保護者を対象に「久米島町子ども調査」を実施しており、これからの、子ども・子育ての支援について、検討してまいります。 貧困対策として、要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業を実施しています。 今後の取組としては、準要保護世帯において、学童を利用する場合には、利用料を免除することができないか、検討してまいります。	福祉課

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
18	赤嶺秀徳	ハーベスター導入について	ハーベスターの導入については、毎年、鋭意行われていると理解しているが4点について伺う。 (1) 導入の基準はどの様になっているか。 (2) 導入申請に係る必要書類は何か。 (3) 基準を満たせばだれでも申請は可能か。 (4) 申請から導入までの期間はどの程度か。	町長	導入の基準は、久米島町ハーベスタ等農業機械整備計画に基づき、導入を行っております。申請者は、さとうきび農業機械等リース支援事業公募要領の中の、応募申請書や添付書類及び応募要件を満たした者となっております。導入までの期間は、約1年かかります。	産業振興課
19		小中学校への冷房設置について	小中学校普通教室への冷房設備の設置については、計画通りに行われていると思うが、4点について伺う。 (1) 進捗状況について (2) 請負業者は、久米島町の業者か。 (3) 全ての学校の完成の目途について (4) 幼稚園への設置も可能か。	教育長	(1) 進捗状況につきましては、9月末で設計を完了し、工事発注準備を終え12月13日に入札を行い、令和2年3月25日迄に全ての学校の普通教室への空調設置を完了する予定です。 (2) 今回、電気設備工事と機械設備工事を一括発注していますので、電気設備の資格と機械設備の工事資格を持つ5業者指名しており、内4社は島内業者となっています。 (3) 全ての学校の完成目途につきましては、令和2年3月25日迄に完成を予定しています。 (4) 幼稚園につきましては、両幼稚園とも既に多目的室への空調は設置しておりますが、普通教室においても設置が可能か関係課と調整し検討して参りたいと思います。	教育課
20		街灯の設置について	久米アイランドホテル前の交差点からぜんだ橋までと沖縄電力久米島支店前の交差点から久米島製糖工場付近までの各々約300メートルについて、これら2ヶ所の街灯設置について2点伺う。(1) 設置の計画はあるのか。 (2) 2ヶ所に限らず街灯の必要な箇所が他にもあると思が、実態調査をした事はあるか。	町長	防犯灯の設置に関しては、区長会が取りまとめた要望書をもとに、各字区長と調整を図りながら、球美の島エコアイランド化推進事業及び防犯灯・防犯カメラ等緊急整備事業を実施しております。 今後の設置計画については、具体的な計画はございませんが、事業完了後、新規の設置に関して、町議会や子ども議会からも、ご質問がございました。また、いくつかの字からも追加設置の要望が、多数寄せられておりますので、要望箇所の状況確認を行いながら、対応について検討を進めているところでございます。	建設課
21		儀間川の環境整備について	現在の儀間川の川岸には、ギンネム等の雑木が生い茂っているため景観が損なわれている整備計画について伺う。	町長	儀間川の管理については、沖縄県南部土木事務所となっておりますので、去る、12月4日に現状の確認を行い、環境整備について要請したところでございます。県においては、新年度の予算調整を図り、河川敷の除草管理を行う方向で、検討していくとの回答がございました。	建設課

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
22	東江浩明	堆肥センター現状と今後の向上対策について	(1) 現場と役場より4名を津嘉山へ技術向上目的に視察、担当者から再度指導を受けるとのことだったが、その後の状況は。 (2) 又、良質な堆肥を早い時期に供給できるよう要望があると思うが進展は。 (3) 現在堆肥センター職員3名と聞くが牛フン回収及び堆肥作成又、廃プラ等々受入労働にかなり無理があると思うが、職員の増員を考えないか。	町長	視察後の状況について、一時発酵までの行程が改善されました。良質な堆肥の提供については、以前は、1cm網のふるい機にかけて、袋詰めをしておりました。その時の指摘事項は、約50%のボロが出るとのことでした。現在は、更にあと一回、5mm網のふるい機にかけて、袋詰めを行っておりますので、ボロのない堆肥が出来ております。職員の増については、堆肥センターの職員とは頻りに意見交換をしており、職員の増員の要望はございません。	産業振興課
23	新垣幸子	子育て支援連絡協議会の設置について	すべての子供達が健やかに育つことができるようなシステム作りが必要である。 支援が必要な親子(家庭)に対し関係機関が協働して適切なサポートができるよう協力体制を強化することや情報共有をとりながら、適切なサポートがなされているか進行状況の確認も必要である。 構成員として、保健師、助産師、小児科医師、臨床心理士、栄養士、養護教諭、スクールカウンセラー、民生委員児童委員、保育所・幼稚園の職員(代表者)、母子保健推進員、ファミリーサポート職員、子育て支援センター職員、福祉課、社会福祉協議会、教育委員会の担当職員とした方が、協力体制がとりやすいと思うが見解を伺う。	町長	現在、支援が必要な親子(家庭)への支援体制については、ケースごとに、支援に必要な機関や職員で協力体制を整えて、情報共有しながら行っています。協議会設置については、運営方法、構成員などを含め検討してまいります。	福祉課
24		臨床心理士の町職員としての配置について	・子どもから大人まで、個々に応じた相談しやすい環境作りが急務である。 ・就学時検診において、気になる子が4人に1人いる状況であることから早の手だてが必要である。 ・教育委員会の就学支援委員会にて検討する児童生徒が増加傾向にある。 ・生活困窮、引きこもり、介護、悩みをかかえている方への支援として、臨床心理士と地域包括センターとの連携も重要となるが臨床心理学志の町職員としての配置について見解を伺う。	町長	現在、親子支援事業として、島外からの臨床心理士を活用して療育や個別相談、5歳児検診、保育所訪問や保育士等関係者の研修などを、実施しておりますが、子どもだけではなく、お年寄りまで、幅広い分野で臨床心理士の必要性があります。職員としての配置につきましては、福祉・教育部門での、業務量や効率性等を精査した上で、雇用形態も含めて検討してまいります。	福祉課
25		久米島町のこども医療費助成の対象者の拡大について	・入院については中学校卒業までとなっているが通院についても、同じように対象者を拡大できないか。 ・周辺離島も実施されており、「医療費助成の対象者拡大を何とかして欲しい。」という切実な要望も多いが見解を伺う。	町長	本町におきましては、沖縄県の基準に準じ、令和元年度において、県見直しの市町村意向調査があり、通院対象年齢の拡大について、令和3年には、中学校卒業まで拡大するよう要望を行っております。	福祉課

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
26	新垣幸子	インフルエンザ予防接種助成について	・「13歳未満は2回接種であることや兄弟がいると更に負担であるので助成して欲しい。」という要望があるが、できないか。	町長	インフルエンザ予防接種につきましては、13歳未満は、2回の接種となるので、地元医療機関のワクチンの確保や休日に接種する場合、医療機関が、対処できるかなどの課題もありますので、医療機関に確認した上で、助成等も含め検討してまいります。	福祉課
27		幼稚園の給食について	「現在、週に2回のお弁当の日がある。預り保育の子どもは毎日お弁当を持参している。ほとんど就労している親にとって、毎日のお弁当作りは負担である。経済や栄養面、給食指導上、是非とも学校給食の実施をして欲しい。」という要望があるが、できないか。	教育長	幼稚園の給食実施につきましては、各幼稚園に学校給食配送車のプラットホーム、給食保管室の整備が必要になります。また、給食を教室へ運搬したり、配膳する際に、園児の安全を確保するための、支援員や補助員の配置も必要となることから、関係課との調整や保護者のニーズを把握した上で、検討して参ります。	給食センター
28		学校教育予算の増額について	2020年度から子供たちの「生きる力」を育む新しい学習指導要領のもと学校教育が展開される。そのことにより学校図書や新聞、コンピューターの情報処理の整備等、教育環境を更に充実する必要があります。また現在、学校図書費や部活等の島外遠征費等親の負担が大きいのでその軽減や学力向上及び学習環境を良くするため、消耗品(用紙等)、備品、教育教材を充実する必要があるが見解を伺いたい。	教育長	学校教育予算につきましては、当初予算ベースで、10年前の平成22年度と本年度の教育費を比較しますと、幼児児童生徒が、約200人減少するなか、約70,000千円増の約636,000千円となっております。 また、一括交付金が創設された、平成24年度以降につきましては、先ほどの教育費に加え、特別支援教育支援員配置事業、基礎学力向上支援員配置事業、各種大会派遣費補助、平成28年度からは、地域おこし協力隊を活用した、中学校支援員配置事業が、更に計上されていますので、学校の学習環境は、着実に充実してきたと認識しています。	教育課

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
29	富永肇	久米島町のスポーツ振興と経済効果について	<p>1、プロ野球等のキャンプと経済効果について、久米島町において、プロ野球東北楽天ゴールデンイーグルスや大学野球等の春季キャンプが行われていますが、受け入れ準備のために係る経費はどの程度の予算（人件費含む）を投入していますか。 過去5ヶ年間の決算ベースの平均で回答願います。 経済効果を試算し費用対効果として、比較検証したことがありますか。</p> <p>2、プロ野球キャンプ期間と施設整備について 楽天ゴールデンイーグルスの1軍キャンプ期間が当初と比較すると、かなり短くなっており球団側とキャンプ期間についての交渉は行っていますか。交渉しているのであれば、どのような回答を受けているのでしょうか。 キャンプ施設に不可欠な仲里野球場に隣接する屋内運動場が利用できない状況にありましたが修繕はかのでしょうか。</p> <p>3、野球以外のキャンプ誘致について キャンプや合宿を行っているスポーツは、野球がメインになっていますが、その他の競技でキャンプや合宿のオファーを受けた経緯はあるか、またハード整備面などの理由で受け入れを断念したことがあるか伺います。 本町からキャンプ、合宿の誘致活動を進めている競技があるか伺います。</p> <p>4、本町にスポーツコンベンションがあると聞きましたが、活動等内容を伺いたい。</p>	町長	<p>1. スポーツキャンプ受け入れに係る経費については、過去5ヶ年の決算平均で、約1千2百万円となります。 経済効果については、沖縄県における、プロ野球春季キャンプの経済効果を測定している機関の手法を参考に、町独自で試算しており、毎年およそ、2億5千万円前後の経済効果となっております。 町の試算では、テレビ等のPR効果は含めておりませんので、そのような波及効果も考えますと、プラスアルファの経済効果もあると考えております。</p> <p>2. 1軍キャンプ期間の短縮については、数年前より、沖縄でキャンプを実施する球団が増加したことに伴い、実戦形式で調整できる環境となったこと等が要因となっております。毎年、キャンプ継続の要請を行っており、期間の延長についても要請の際に、球団へお伝えしております。</p> <p>仲里屋内運動場については、キャンプ受け入れが、可能な環境への修繕工事を行っているところであり、キャンプでの利用に影響が生じないよう取り組んでまいります。</p> <p>3. これまで、野球以外の競技で、キャンプや合宿のオファーを受けたことはございませんが、過去には、社会人陸上部が合宿キャンプを行ったことがあります。現在、町として誘致活動を行っておりませんが、本町の受け入れ環境で、誘致可能な競技、時期等を模索しながら、今後、検討してまいります。</p> <p>4. 平成26年5月に「久米島町スポーツコンベンション推進協議会」が設立されております。町や経済団体、交通事業者等により、組織構成されておりますが、協議会としての活動は本格化しておらず、構成団体間で連携しながら役割を担い、スポーツコンベンションの推進・対応を担っている状況です。今後、協議会活動の展開について、検討してまいりたいと考えております。</p>	商工観光課

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
30	富永肇	小中学生の体力運動能力について	1、ここ数年、全国的に小中学生の体力と運動能力が低下傾向にあると言われてます。久米島町も体力と運動能力の測定が行われていますが、全国、沖縄県と比較してどのような状況、傾向が見られますか。また過去10年間の久米島町の傾向を伺いたい。	教育長	全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、全国の小学校5年生及び中学校2年生を対象に実施されており、今年度の結果は令和2年2月頃に公表される予定です。 本町の昨年度の結果は、全8種目の総合点数は、小5・中2男女ともに全国を上回っております。小学校では、立ち幅跳び、中学校では握力、50m走、また、小中共にボール投げが全国を大きく上回っております。課題は、小中共に柔軟性に関わる種目で、全国より低い結果となっております。 データ資料の残っている、過去3年間の記録から見ても同様の傾向が見られます。	教育課
31		イーフビーチの砂の飛散について	1、台風時にイーフビーチから砂の吹き上げによって、民宿や店舗等に被害が出ています。また営業面にも支障をきたしております。砂の飛散によりイーフビーチの景観も変わってきています。日本の渚百選にも選ばれている観光名所でもあることから対策が必要であると思っておりますが、現状把握をしているか伺いたい。 また数年前には、地域、関係機関、行政で連携しハマヒルガオを植えた経緯があります。	町長	イーフビーチ海浜からの、飛砂については、町としても現状を把握しておりますが、対策に苦慮している状況です。平成28年度に、対策の一環として、町民の皆様や関係機関、各団体ご協力のもと、飛砂対策として行った「ハマヒルガオ」の植え付けも、効果として上がっていないのが実情です。イーフビーチは「日本の渚百選」として、本町の誇る景勝地でもあり、景観と調和した対応策も必要だと考えております。 飛砂が広範囲、また、かなり上空に及んでいることから、専門的な調査等含め、抜本的な対策に取り組んでまいります。	商工観光課
32	喜久里猛	バーデハウスのシャトルバスについて	以前は字仲村渠まで運行していた様だが、現在はどこまで運行しているか、変更した理由と今後の対応を聞きたい。	町長	指定管理先の(株)オーランドに確認したところ、シャトルバスの現在の運行については、イーフ地域等のホテルや公共施設を巡回するダイヤが1日6便、旧具志川村方面のホテルや公共施設を巡回するダイヤを1日4便運行しているとのことでした。 一時、島を時計回りで、1周するダイヤも運行していましたが、利用者が皆無に近い状態になったことから、平成24年9月に廃止したとのことです。 シャトルバスの運行については、厳しい経営状況も踏まえ、より効果的に運行したいとの考えのもと、施設利用者の動向を見ながら、検討したいとの回答でした。	商工観光課

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
33	喜久里猛	議員定数について	町の人口7000人余りに対して、定数14人は多くはないがマスコミ等で報じられているように、議員のなり手がいない本町においても定数14人に対して15人であった。この際10人位に減らし報酬を上げて生活を安定させ政治活動に集中出来る様にしたらどうか。	町長	議員定数削減については、町民からの要望も聞いておりますが、議員定数は議会で議論することと考えておりますので、議会の判断を尊重したいと思います。	総務課
34		中央通り会の街灯について	下十字路から具志川庁舎に向けての街灯が少ない県道でもあり、メイン通りの位置付けから追加設置出来ないか。又、旧仲泊駐在所の福木の所有者はどこか枝打ちした事があるか問いたい。	町長	現在、中央通り会に設置されている、LED防犯灯については、事業計画時に通り会の会長との調整を経て、平成28年度に現在の箇所に設置しております。 追加設置の要望等については、先ほど述べましたが、事業の完了後に新たな設置要望が多数寄せられておりますので、対応について検討を進めているところでございます。 旧仲泊駐在所は町有地で賃貸していることから、福木についても町所有と思われます。久米島交番と相談し福木の枝打ちを行いたいと考えております。	・建設課 ・総務課
35		図書館（複合型防災・地域交流拠点施設建築工事）の用地について	現在工事中の図書館用地について町民とのトラブルは、ないかあれば何年になるか解決のめどはあるか。	町長	当該用地は町有地となっており、複合型防災・地域交流拠点施設の計画、検討、設計を経て、今年度より、建築工事を実施しておりますが、現在において、町民とのトラブルはございません。 当該用地の取得については、平成10年前後に、公園用地として取得しておりますが、用地交渉の際に条件等に関して、若干時間を要した経緯はございますが、地権者の同意を頂き、契約締結後に町有地として登記を完了しております。	建設課

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
36	喜久里猛	福祉ケアマネについて	久米島在住のケアマネは5人と聞いているが足りているか島外からの応援はないか、居たら何人位か、採用の予定はないか。	町長	現在、町内に居宅介護支援事業所は、4事業所あり、計6名の介護支援専門員（ケアマネジャー）が所属しています。 高齢者が増加することに伴い、要介護認定者数も増加しているため、介護支援専門員は、慢性的に不足しています。 そこで、町として、平成31年2月から島外の2つの事業所から、3名の介護支援専門員を派遣してもらい、ケアプラン作成支援を依頼しています。 職員採用については、まず、島内の居宅介護支援事業所の安定的な職員配置に向けた、人材育成等の支援を実施し、今後の事業展開を含めて、必要に応じて適切に対応してまいります。	福祉課
37		久米島大綱曳きについて	久米島は一つとの思いから両村合併を行い10年余りになるが久米島を代表し内外にアピールするイベントがない、大綱曳きをそのイベントとして位置付けたらどうか。その為には、稲を生産してワラを確保して全て町民で行う行事にしないといけない。行政・町民が一体となって、取り組めば可能だと思いがどうか。	町長	合併後、3回の大綱曳きが開催されました。その都度、与那原町より綱を借りて実施しております。現在、久米島町には字仲地に約1haの水田がありますが、大綱を制作出来る数量ではございません。今後、どのような方法で稲を生産して、大綱制作に取り組めるか、検討課題だと思います。	産業振興課
38		カンジン地区畑かんについて	この地区の畑かん事業は今年度で終了である。予定面積に足りないが、北原の希望する農家が保安林の為に工事が出来ない状態にある。方法はないか。	町長	北原における保安林に起因する、畑かん工事への影響について、沖縄県南部農林土木事務所に問い合わせたところ、保安林帯の作業において、町有地に係る箇所については、本町への貸付申請及び保安林内作業行為許可申請に関する手続きを行い、本町の回答を得て、沖縄県南部農林土木事務所への作業手続き、許可後に工事に着手するとの回答がございました。 また、畑かん希望の農家への対応については、南部農林土木事務所に対し、善処を求めて参りたいと考えております。	建設課
39		シンリ浜前のアオサ用鉄筋について	この一帯約300～400mにわたりアオサ用の鉄筋が打ち込まれているが、有効利用されているか又どの法律に基づいて設置しているか。その団体はどこか。	町長	久米島漁業協同組合が、特定区画漁業免許に基づいて、沖縄県知事から許可を受けて、第一種特定区画漁業ヒトエグサひび建て式養殖業を行っております。 利用団体は、アサ部会が種苗を栽培しております。	産業振興課

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
40	真栄平建正	赤土対策について	これまでの取り組みと今後の取り組みについて	町長	これまでの、取り組みにつきましては、対策に必要な農地パトロールの実施や、発生源対策として緑肥播種、心土破碎。抑止対策として、グリーンベルト設置、防止版の設置となっております。今後も、同様な取り組みと同時に、久米島町サンゴ礁保全再生活動地域協議会と連携し、赤土流出の対策を行っていきます。	産業振興課
41		海岸漂着ごみ対策について	これまでの取り組みと今後の取り組みについて	町長	海岸漂着ごみ対策は、沖縄県海岸漂着物等地域対策推進事業費補助金を活用し、海岸漂着物に係る環境教育・普及啓発活動を活発に実施している民間団体、地域住民等の協力を得て発生抑制のための、関係者間の連携・交流等、海岸漂着物等の発生抑制対策に関する事業を実施しております。 事業費としては、平成26年度に6,890千円から始まり、平成30年度には、3,920千円まで、毎年行っております。また、久米島周辺の海岸管理者の沖縄県とも連携をして、今後も行っていきます。	環境保全課
42		猫被害対策について	これまでの取り組みと今後の取り組みについて	町長	久米島町では、地域猫（野良猫）を増やさないうを、当面の目標とし、現在、久米島町婦人会の「ワンちゃんヘルプ活動」と連携し、地域猫の保護及び去勢・避妊手術を無料で行う事業を実施しております。この事業は、日本動物福祉協会の協力の下行われています。この協会が沖縄県で行うのは、本町が初めてでございます。また、今後も定期的に行う予定となっておりますので、久米島町婦人会及びボランティア団体と連携し、取り組んでまいります。	環境保全課

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
43	真栄平建正	第2次久米島町総合計画について(基本構想)について	1、第2次久米島町総合計画に基づく各課の計画策定状況について 2、商工観光課、教育課、企画財政課の計画概要について	町長	<p>1つ目の質問について</p> <p>第2次久米島町総合計画に基づき、又は、関連する計画は、各課で策定しており、「生まれる」から「老いる」まで、等をテーマに、8つの島づくりの目標を掲げて計画を推進しています。</p> <p>2つ目の質問について事例をあげますと</p> <p>商工観光課では、総合計画に基づいて、第2次観光振興計画を策定しております。平成30年度に策定し、令和元年度から令和5年度までの計画期間となっており、計画の概要として、重点・基本の項目からなる、7つの基本方針と20施策を掲げて推進しています。</p> <p>教育課では、総合計画に基づいて「学ぶ」をテーマに、小・中学校の学力向上対策等の推進を行っています。</p> <p>企画財政課は、総合計画に基づいた基本計画、実施計画策定のほか、関連する政策、計画として、久米島町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しております。平成27年度に策定し、計画期間が平成28年度から令和2年度までとなっており、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、地域の特性に即した、地域課題の解決を基本に、魅力ある地方の創生を目指すものとなっております。</p>	企画財政課

令和元年12月定例会 一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
44	玉城安雄	第2次総合計画について	第2次総合計画(2016~2025)策定から4年目となっています。(人口減少に歯止め)を重点目標に、すべての世代が生き生きと暮らせる島を目指し施策の実現に向け取り組んでいるところですが、柱となる施策の取り組みや進捗状況、また効果の出ている施策があれば伺う。	町長	<p>第2次久米島町総合計画では、世代ごとに「生まれる」から「老いる」まで、等をテーマに、8つの島づくりの目標、テーマを掲げて計画を推進しています。</p> <p>柱となる、施策の進捗状況や効果の出ている事例を2,3つ申し上げますと「生まれる」「育つ」のテーマでは、出産を控え渡航する際の交通費や宿泊費等の助成に加え、今年度から、新たに出産祝品の贈呈を始めました。また、平成30年度は、ファミリーサポートセンターも立ち上げて、子育てしやすい環境づくりに取り組んでおります。</p> <p>2つ目は「学ぶ」世代と「暮らす」世代にまたがる施策として、複合型防災・地域交流拠点施設の整備状況についてご説明します。当施設は、平常時は、図書館や町営塾として活用し、災害時には、住民や観光客及び災害時要援護者等が安全に避難生活を送れる避難所としての機能も備え、公立病院や博物館とも隣接しており、新たな町の拠点として、来年の7月開設に向けて取り組んでおります。</p> <p>3つ目は「島を訪れる、島に帰る人たちへ」の施策として、移住定住の窓口を一本化して推進した結果、2016年度から、現在までに、93名の移住が実現しており、また、移住相談件数も島内外合わせて、延べ、456件に達しております。</p>	企画財政課
45		第3セクターについて	第3セクターについて当局の見解を伺う。それを踏まえてパーデハウスの今後の運営方法について考え方や取り組みについて伺う。	町長	<p>パーデハウスの経営状況については、大変厳しい状況であるため、久米島町第三セクター等経営評価委員会を設置し調査検討しているところです。</p> <p>委員会の調査報告を基に、第三セクター事業そのものの意義を検討し、今後の運営方法を決定することとしています。</p>	総務課 商工観光課